

高校生未来まちづくり委員会

開催日：平成30年11月17日（土） 18：00～19：30

会場：町総合文化ホール多目的交流室

参加者：町内在住高校生 11名

ワークショップテーマ

「帰ってきてもいいかな」と思える町

【最終まとめ部分】

グループ A

「老若男女に優しい」まち

- ・子どもにも高齢者にも便利で尚かつ活発で元気で毎日がおくれる。
- ・子育てしやすい。
- ・自然の良さが詰め込まれている。
(CM で使われたら多分噂になる⇒良い意味でプラスに炎上する。)

グループ B

「暮らしやすい」まち

- ・子育ての環境が充実している。
- ・文化芸術の取り組みがある。
- ・町外からの来客に寛容であり、受け入れ態勢ができています。
- ・おもてなしの心がある。
- ・外国人が多く国際的な環境がある。

グループ C

「全町民（子ども、大人、老人）が安全で安心して楽しく過ごせる将来性のある」まち

- ・衣食住の不自由のない環境の整備。
- ・子育ての充実を考えると病院が近くにある環境の整備。
- ・保育所等の環境が充実して、子どもがのびのびと育ってくれる町。
- ・賃金がある程度稼げ、働く場所が多くあり、働き手が安定できる環境があること。
- ・安心、安全な生活がおくれること。

【その他ワークの中での意見】

- ・省エネ推奨の町（太陽光、風力、地熱）
- ・奥部の人のかいものができるようスーパー（買い物施設）の充実
- ・ラドン効果を利用した、病気の治療環境の研究。
- ・ふるさと納税の返礼品の充実（需要のある特典を）
- ・保育園での特徴のある取り組みを。
- ・勤務中に子どもを預けられる体制がある。
- ・働く環境づくりに向けた奨学金制度。
- ・空き家の5年間無料レンタル（都会の人向け）、5年住んでみることで永住につながるかも
- ・地域での民泊。
- ・周りとのふれあいがとれて安全な町。
- ・第3子以上育てた夫婦への年金支給を早める。
- ・託児所、子育て世代への支援、税制・手当など（特に第3子以降）
- ・美術、音楽、文化を発信できる場（芸術家と一般の人）
- ・若者が遊べる場所が欲しい。
- ・山を利用したアスレチック、キャンプ場。
- ・アウトドアスポーツが出来る環境が欲しい。（サバゲー開場含む。）
- ・キャンプ施設があれば良い。
- ・特別に速いネット環境の整備。
- ・インスタ映えするスポット。